

令和5年度 学校経営報告書

学校番号	18	学校名	静岡県立沼津東高等学校	校長名	齊藤 篤
------	----	-----	-------------	-----	------

本年度の取組（自己評価）

	育成する力	達成方法（取組手段）	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
主体性・多様性・学びに向かう力・人間性	自己肯定力	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育 ホームルーム活動 教科の授業 自治会活動 部活動 学校行事 交通指導 校外活動への参加 揺籃、課題研究 朝読書 進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身にだいたい満足しており、物事を肯定的に考えることが多い生徒 60%以上◎ 楽しく充実した学校生活を送っている生徒 90%以上◇ 	58.3%◎ 95.4%◇	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活などには大きな問題はないが、自分の課題解決のためにカウンセリングを希望する生徒が、から希望する生徒が増加。 ○ハイレベル模試やチームメディカル等に積極的に申し込む生徒が多く、学習に対する前向きであった。 ●もう少し余裕のある学校生活になると良い。 	生徒保健環境相談室 部活動 教務 図書研修 進路 学年 理数
	利他・共生力		<ul style="list-style-type: none"> 所属する集団や社会に貢献できるよう意識して行動している生徒 80%以上◎ いじめ件数・問題行動・交通事故・違反指導数の前年比減● 	75.9%◎ いじめと認定した件数 R4「1」→R5「1」件 問題行動件数 R4「5」→R5「2」件 2減 交通事故件数 R4「15」→R5「12」件 3減	B	<ul style="list-style-type: none"> ○行事や部活動に熱中できる生徒が多く、活気を感じた。 ○科学部化学班は地域のコミュニティと連携し、実験教室を開催した結果、沼津ライオンズクラブの千本賞を受賞した。 ●生活指導についても初期指導が必要 	
	関心・知的好奇心		<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業や日常生活の中で、興味・関心を抱いて情報を集めたり、「これに取り組んでみたい」と思ったりすることが多い生徒 60%以上◎ 生徒の年間貸出し数 2700冊以上● 	75.9%◎ 生徒貸出数 1月31日現在で 2190冊●	B	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度の同時期 2079冊に対して増加したが、目標冊数には及ばなかった。 ○図書室や自習室の利用は増加し、総合的な学習における活動の場になっている。 	
	挑戦・行動力		<ul style="list-style-type: none"> 指示されたこと以外で、自分を高めるために、継続的に取り組んでいることがある生徒 70%以上◎ 難関国公立大・医学科志望者数 120人以上● 地区大会を突破した部活動 10以上● 	71.3%◎ 9月時点の3年難関国公立大・医学科志望者数 137人● 地区大会のある部活動に限ると13部が東部大会を突破し県大会に出場 県大会から出場の部活動を含めると18部が上位大会に出場	B	<ul style="list-style-type: none"> ○3年次生は、入学当初は非常に厳しい結果のスタートであったが、3年次2学期後半や共通テスト本番では、実力を伸ばし、全体的に、第一志望を貫くといった姿勢の生徒が多かった。 ○東大・京大・医学科等の最難関の志望者が多かった。 	
	協働・巻き込む力		<ul style="list-style-type: none"> 協働場面では、積極的に発言・活動して集団をまとめ、参加者全員を巻き込むよう工夫している生徒 60%以上◎ 	50.1%◎	B	<ul style="list-style-type: none"> ○理数探究時の活動では、ほぼ全員がグループの雰囲気や団気を大切にしながら積極的に活動できた。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 香陵祭、スタディツアー、高原教室の満足度 80%以上◇ 友人と協働して目的を達成することができた生徒 80%以上◇ 英会話、校外の学び、ボランティア活動に参加した生徒 100人以上● 	香陵祭アンケート（生徒）満足している 約95% スタディツアー、大変満足、満足合わせて99% 高原教室の満足度 87.8% ボランティア参加者 15名 読書感想文コンクールにおいて優良作品に1名入賞 校外の学び(英会話・ボランティア含む)265人● 地域防災訓練参加者 151名	A	<ul style="list-style-type: none"> ●研修を振り返る時間を確保し、沼東ゼミに繋がった。 ●山登りは悪くはないが、他校の修学旅行と比べると自分たちの行動の選択肢が非常に少なく残念だったという意見もあった。 ○英会話教室や英検に多くの生徒が参加・受検をした。 ○地域での繋がりや防災意識を高めることができた。 		
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 教科の授業 揺籃、課題研究 一人一台端末活用 学びの基礎診断 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容が分かる生徒 80%以上◇ 一人一台端末を活用している生徒 1・2年次生 90%以上◇ 共通テスト5教科7科目受験率 90%以上● 難関国公立大・医学科合格者 50人以上● 	88.0%◇ 83.2%◇ 共通テスト5教科7科目受験率は 92.3%● 難関国公立大・医学科合格者 48人	A	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で周囲を巻き込み、積極的に発言することができている生徒は力が付いている。 ○1年では基礎力の定着、2年では抽象的な思考力を養成、3年では記述力の育成を目標とした。 	教科 情報処理 進路 学年	
力 思考力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 教科の授業 揺籃、課題研究 進路指導 職業を知るセミナー 大学出張講義 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決や大きな目標達成のために、高すぎず低すぎない適切な小・中目標を設定することができる生徒 60%以上◎ 	64.7%◎	A	<ul style="list-style-type: none"> ○大学出張講義で目の色を変えて講師の方々のお話を聞いている生徒が多くいて、進路に対してとてもよい刺激になった。 	教科 理数 教務 生徒 進路	

様式第3号

課題 発見・ 分析力	志望校設定等 ・部活動 ・学校行事 ・校外活動への参加	・物事を多面的に観察し、その良さと課題の両方を見いだすことができる生徒70%以上◎	75.2%◎	A	○理数探究中間発表会では、ほとんどの生徒が価値や課題を見いだすことができた。	学年 図書研修 部活動
		・意見を求められたとき、自分の意見を適切な根拠を示しながら、順序だてて説明することができる生徒70%以上◎	66.2%◎	B	○新傾向に向け、思考力や判断力を養う問題演習を数多く行うことで、概ね目的を果たした。	
		・説明するときは、聞き手を意識して話し方を工夫したり、適切な機器を用いたりして、分かりやすく説明することができる生徒70%以上◎	67.3%◎	A	○理数探究中間発表会では、多くの生徒が聴衆に対してわかりやすく説明することができた。	
		・授業や学校生活の中で、自分の世界や発想の幅が広がっている生徒80%以上◎	74.2%◎	B	○職セミ、大学出張講義等で新しい世界観や興味を持つことができた。	
思考力		<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望校（3年次1学期）を受験した生徒50%以上● ・探究や授業成果の校内発表会実施、校外の発表会等への参加● ・教科、科学、図書、関係部活、探究・課題研究等入賞● 	第1希望を受験した生徒54%●	A	○最終の受験校決定まで、志望を変えない生徒が多かった。	
			理数探究中間発表会の満足度は94%● 名大MIRAI GSCにおいて選考を勝ち抜いている。			
表現・ 発信力						
創造力						
業務改善	・DX、外部人材活用	・月別時間外労働時間の前年比減少	月別時間外労働時間の前年比 53.1h→56.2h 職員健康診断受診率100%	B	○引き続き、健康診断の受診を勧め、職員の疾病予防に努める。（保健環境）	全教職員

◎1学期末、学年末生徒アンケート ◇生徒対象学校生活アンケート ●データ